

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和5年度第1回岩手県大規模事業評価専門委員会

2 開催した日時

令和5年6月9日（金）13：40～15：40

3 開催場所

岩手県公会堂 2階 21号室（盛岡市内丸11-2）

4 出席委員

加藤徹委員長、狩野徹委員、小井田伸雄委員、松山梨香子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員（8名中6名出席）

5 専門委員会議題等

(1) 議題

ア 令和5年度専門委員会の開催スケジュールについて

- 政策企画課から、令和5年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュールを説明。

イ 大規模公共事業の再評価について

- ・ 猿ヶ石川広域河川改修事業（遠野市）

〈諮問審議〉

- 河川課から評価内容について説明があった。
- その後、質疑等が行われたが、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は特になかった。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

(質疑)

事業期間について、5年延長となった根拠は。

(回答)

残事業の作業量等から5か年と判断した。

(質疑)

河川情報のリアルタイムの情報提供について、ランニングコストは発生しないのか。

(回答)

県から市町村に河川水位情報をリアルタイムで提供している。それに伴って、市町村では避難指示などの発令をする。

(質疑)

残土の有効活用は。

(回答)

ほ場整備事業と連携しながら進めてきた。河川によって対応は異なると考える。

(質疑)

災害が頻発していることに対し、何らかの見直しが必要ではないか。

(回答)

家屋の浸水防止等、当面、課題のある箇所を改修していく。

(質疑)

資料 17 ページ、事業期間の延伸理由で県内に多発する洪水被害への対応とあるが、これだと、事業規模が変わったと見えてしまう。表現を考えた方がいい。

(回答)

他の箇所でも洪水被害があれば、まずはそちらにお金を使わなければならない。事業を進めていくうえで、順番にお金を使わなければならないという意味でこのような表現にした。

(質疑)

進捗率 96.4%ということだが、物価高の影響が考えられる。残 5 か年で事業完了ということだが、予算内で賄えるのか。

(回答)

物価高の影響を考慮し、残 5 か年とした。資料 5 ページにもあるようにコスト削減というところも考慮した。

(質疑)

維持管理費について、事業費の 0.5%ということだが、過去の実績の見直しはしているのか。

(回答)

最大見積もって 0.5%程度。

(質疑)

維持管理費について、可能であればモニタリングしたほうがいい。

(回答)

参考にする。

(質疑)

マニュアルが変わったから B/C が増えたということだが、旧マニュアルだと B/C の数値はどうなるのか。

(回答)

旧マニュアルだと B/C は 1.7 となり、前回評価時とほぼ同等となる。

(質疑)

B/C の大きさによって、事業の優先順位が変わってくるのか。

(回答)

浸水被害防止が目的。被害の大きさの状況など総合的に勘案し、事業を進めていく。目的達成のための事業計画に変更がなければ、継続して事業を進めたい。

・ 千厩川（中流）広域河川改修事業（一関市）

〈諮問審議〉

- 河川課から評価内容について説明があった。
- その後、質疑等が行われたが、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項は特になかった。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

(質疑)

事業期間を延伸することで、影響を受ける福祉施設への説明は行うのか。

(回答)

特に説明することは予定していない。ソフト対策で対応する。

(質疑)

硬岩の出現は予測できなかったのか。

(回答)

ここまで強固な岩ということは予測できなかった。市街地も近く、特殊な工法として
いる。

(質疑)

期間が長くなっている要因は。

(回答)

年間の投資できる金額、作業量を勘案し、令和 22 年まで延伸した。

(質疑)

資料 45 ページ、マニュアル改定内容が分かりにくい。%を分子にしているのが理解で
きないので、表現を見直せるのであれば、見直ししてほしい。

(回答)

分かりやすい説明としたい。

(質疑)

事業計画の変更の評価が b となっている。先ほどの猿ヶ石川と比較して、変更の程度
が違う。区間やルートの変更ではないが、費用が倍増しているので、これは事業計画の
見直しといえるのではないか。

(回答)

イレギュラーな変更だったと思うが、現在の事業計画の範疇と考えている。

(質疑)

一般的には大幅な変更と思うので、大幅な変更ではないという表現は避けた方がいい。

(回答)

調書の表現の見直しを検討する。

(質疑)

事業費が増えているが、国からお金は入るのか。

(回答)

国から入ってくる。

(質疑)

令和 22 年度までで費用倍増ということだが、新たなところで硬岩が見つかる可能性は
あるのか。

(回答)

その可能性はある程度見込んでいる。

(質疑)

B/C が高いと思うが、今後の展開は。

(回答)

まずは事業を着実に進めたい。硬岩が出ているところ以外を先行するなど、いくらかでも流下量を増やしたい。

ウ 第2回専門委員会（現地調査）について

現地調査の実施について、案の2のとおり、写真等で現況を確認することとなった。

(2) 会議資料

○資料 No. 1 令和5年度大規模事業評価専門委員会の開催スケジュール（案）

○資料 No. 2 大規模事業評価諮問書（写）

○資料 No. 3 令和5年度大規模事業評価地区 位置図（R5.6諮問）

○資料 No. 4 大規模事業評価関係資料

【再評価】

・猿ヶ石川広域河川改修事業（遠野市）

・千厩川（中流）広域河川改修事業（一関市）

○資料 No. 5 令和5年度第2回大規模事業評価専門委員会

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

報道 3社

7 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL：019-629-5181 FAX：019-629-6229

8 ホームページアドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/hyoukasenmon/1065005/1065660.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。